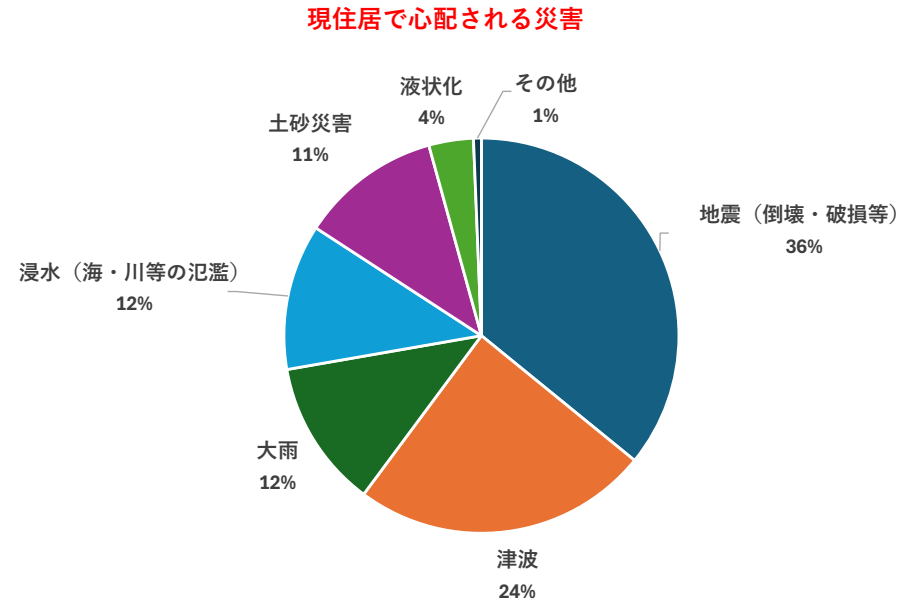


質問 1

地震（倒壊・破損等）	1279
津波	866
大雨	431
浸水（海・川等の氾濫）	425
土砂災害	411
液状化	130
その他	23
有効回答数	3565

その他の主な回答
台風・大風 5 件
倒木・樹木の倒壊 3 件
火災 3 件
山津波・山崩れ 2 件

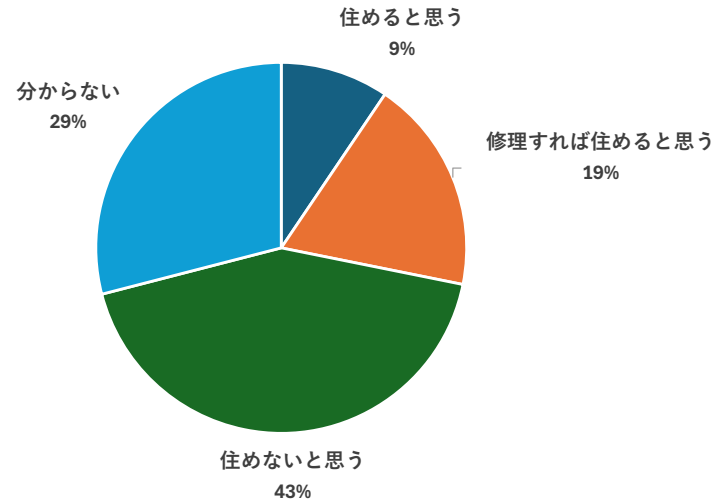


現住居で心配される災害として、「地震（倒壊・破損等）」が36%、「津波」が24%となっており、全体の約6割を占める結果となっています。次いで、「大雨」「浸水（海・川等の氾濫）」がそれぞれ12%、「土砂災害」が11%、「液状化」が4%となっています。またその他の災害として、台風・大風や倒木、火災等の回答が出ています。

質問 2

住めると思う	133
修理すれば住めると思う	263
住めないと思う	602
分からない	408
有効回答数	1406

南海トラフ巨大地震発生時、住まいの継続居住意向

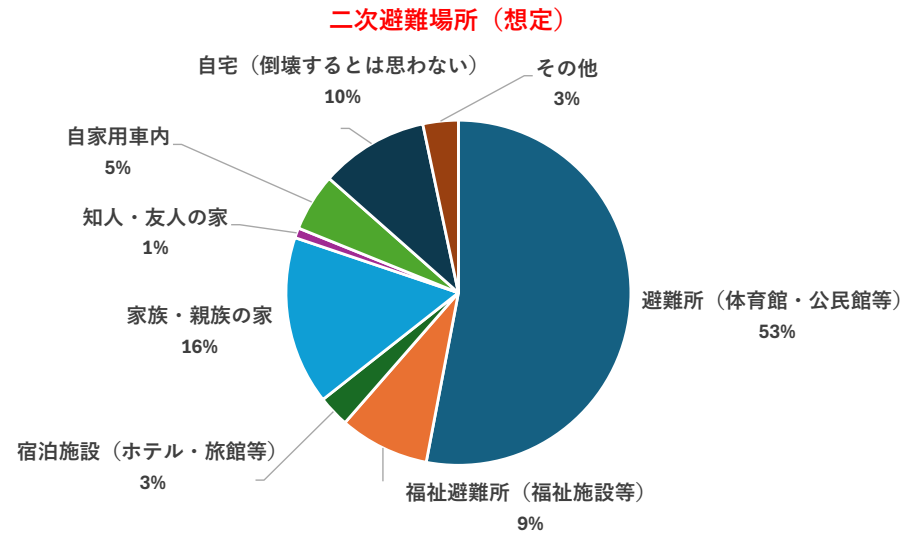


住まいの継続居住意向として、南海トラフ巨大地震発生時に自宅で「住めないと思う」の割合が一番多く43%となっています。次いで、「分からない」が29%、「修理すれば住めると思う」が19%、「住めると思う」が9%となっています。自宅が修理を含めて、住めると回答があった方は28%で全体の約3割弱でした。

質問 3

避難所（体育館・公民館等）	735
福祉避難所（福祉施設等）	117
宿泊施設（ホテル・旅館等）	41
家族・親族の家	219
知人・友人の家	13
自家用車内	75
自宅（倒壊するとは思わない）	141
その他	46
有効回答数	1387

その他の主な回答
倉庫・納屋 3 件
裏山・高台の山 3 件
近くに場所が無い 2 件
避難できない 2 件



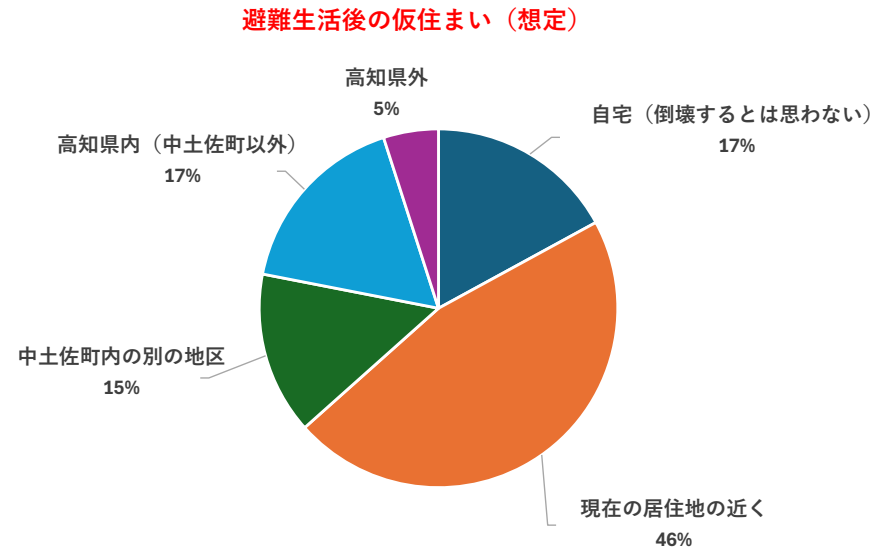
二次避難場所※として「避難所（体育館・公民館）」の割合が53%であり、全体の半数以上を占めています。次いで、「家族・親族の家」の割合が16%となっています。

また、「自宅（倒壊するとは思わない）」と回答された方の割合は10%と、全体の約1割でした。

※二次避難所：南海トラフ巨大地震発生後に長期間の避難生活を送る場所

質問 4

自宅（倒壊するとは思わない）	234
現在の居住地の近く	636
中土佐町内の別の地区	201
高知県内（中土佐町以外）	233
高知県外	68
有効回答数	1372

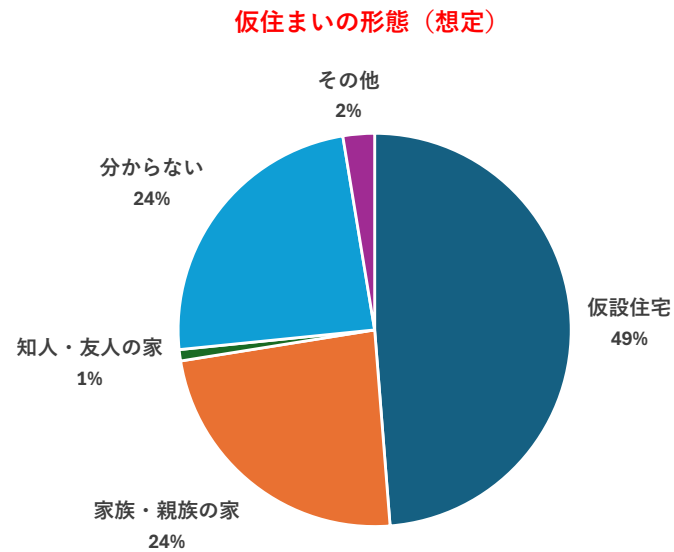


避難後の仮住まいとして、「現在の居住地の近く」の割合が46%であり、全体の半数近くを占めています。次いで「高知県内（中土佐町以外）」と「自宅（倒壊するとは思わない）」がほぼ同数の割合で17%となっています。

質問 5

仮設住宅	526
家族・親族の家	256
知人・友人の家	10
分からない	259
その他	28
有効回答数	1079

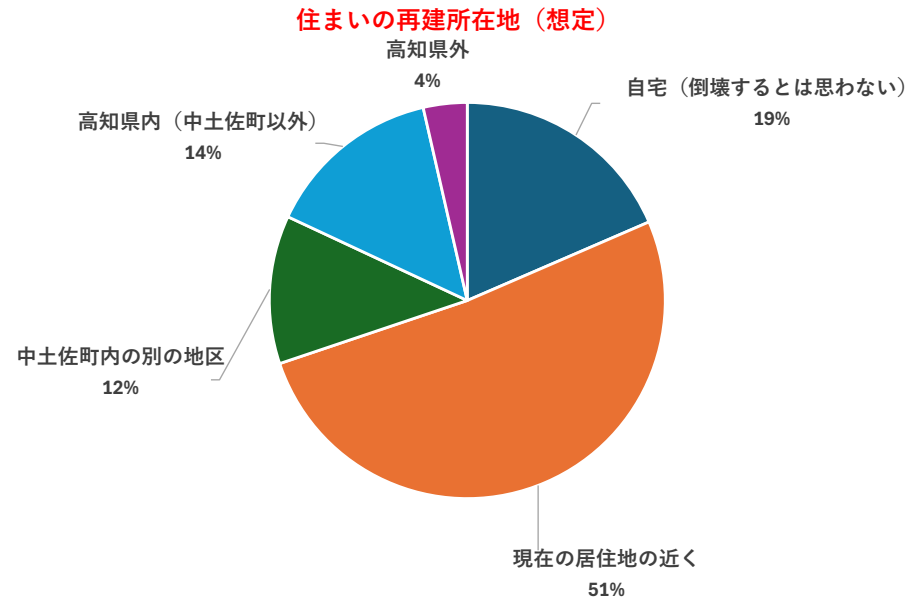
その他の主な回答
倉庫・納屋 4 件
実家 2 件



仮住まいの形態として、「仮設住宅」の割合が49%であり、全体の半数近くを占めています。次いで「家族・親族の家」と「分からない」がほぼ同数の割合で24%となっています。

質問 6

自宅（倒壊するとは思わない）	243
現在の居住地の近く	674
中土佐町内の別の地区	159
高知県内（中土佐町以外）	190
高知県外	47
有効回答数	1313

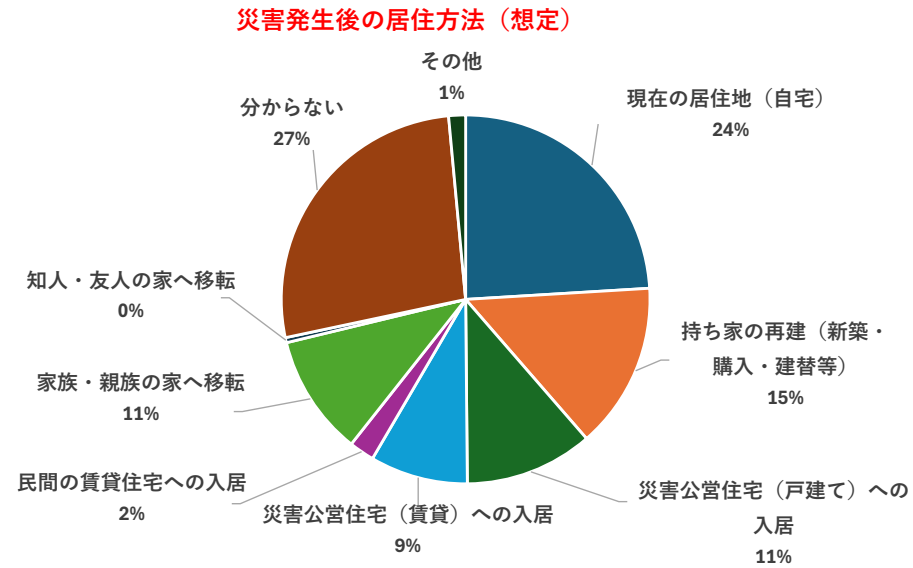


住まいの再建所在地として、「現在の居住地の近く」の割合が51%であり、全体のほぼ半数を占めています。次いで「自宅（倒壊するとは思わない）」の割合が19%となっています。また「高知県外」の割合が4%となっています。

質問 7

現在の居住地（自宅）	325
持ち家の再建（新築・購入・建替等）	197
災害公営住宅（戸建て）への入居	152
災害公営住宅（賃貸）への入居	116
民間の賃貸住宅への入居	30
家族・親族の家へ移転	143
知人・友人の家へ移転	6
分からない	363
その他	20
有効回答数	1352

その他の主な回答
病院・施設 5 件
納屋・倉庫 4 件
実家 2 件

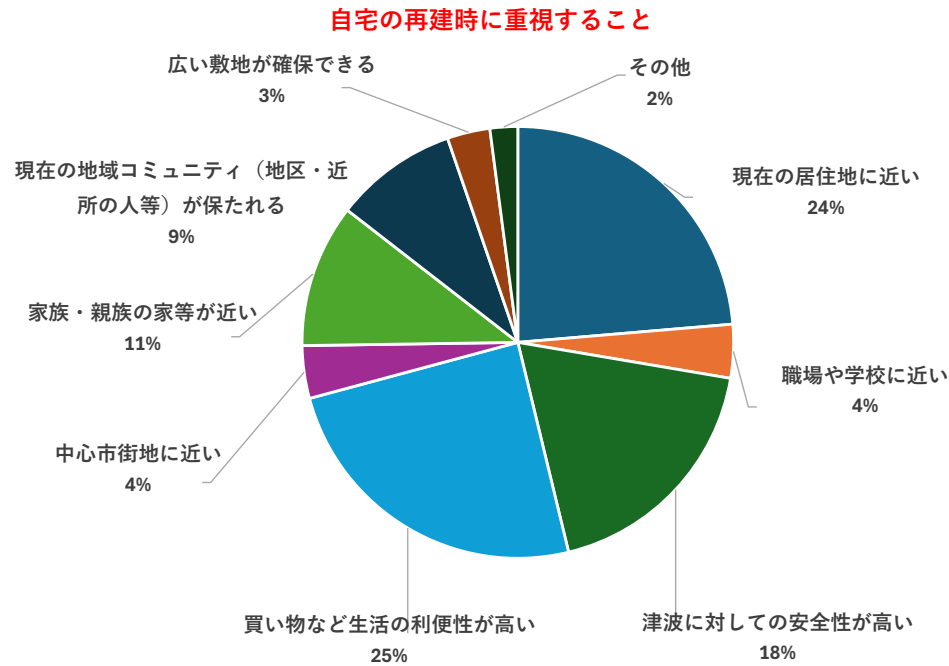


災害発生後の居住方法として、「分からない」の割合が27%と一番多く、次いで「現在の居住地（自宅）」が24%となっています。また自力で再建する方「持ち家の再建（新築・購入・建替等）」の割合は15%となっており、全体で3番目に高い比率となっています。

質問 8

現在の居住地に近い	672
職場や学校に近い	114
津波に対する安全性が高い	527
買い物など生活の利便性が高い	699
中心市街地に近い	112
家族・親族の家等が近い	305
現在の地域コミュニティ（地区・近所の人等）が保たれる	262
広い敷地が確保できる	91
その他	59
有効回答数	2841

その他の主な回答
再建は困難・無理 9件
ペットが飼える 2件
分からない 2件



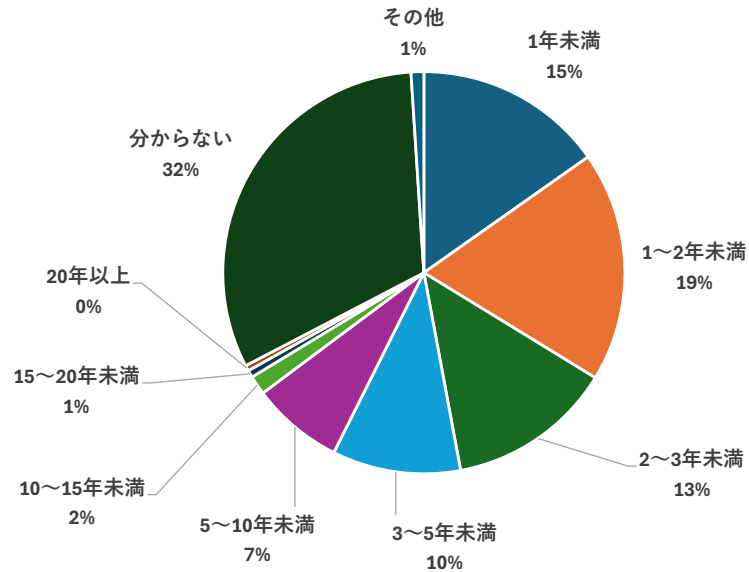
自宅の再建時に重視することとして、「買い物などの生活の利便性が高い」の割合が25%、次いで「現在の居住地に近い」が24%であり、この2項目で全体の約半数を占めている。次いで「津波に対する安全性が高い」が18%、「家族・親族の家等が近い」が11%となっています。

質問 9

1年未満	208
1～2年未満	253
2～3年未満	182
3～5年未満	141
5～10年未満	101
10～15年未満	21
15～20年未満	8
20年以上	6
分からない	432
その他	14
有効回答数	1366

その他の主な回答
災害の規模による 4 件
地理・地形による 2 件
家の壊れ方・状態による 2 件

災害発生から、元の生活に戻るまでに要する期間（想定）



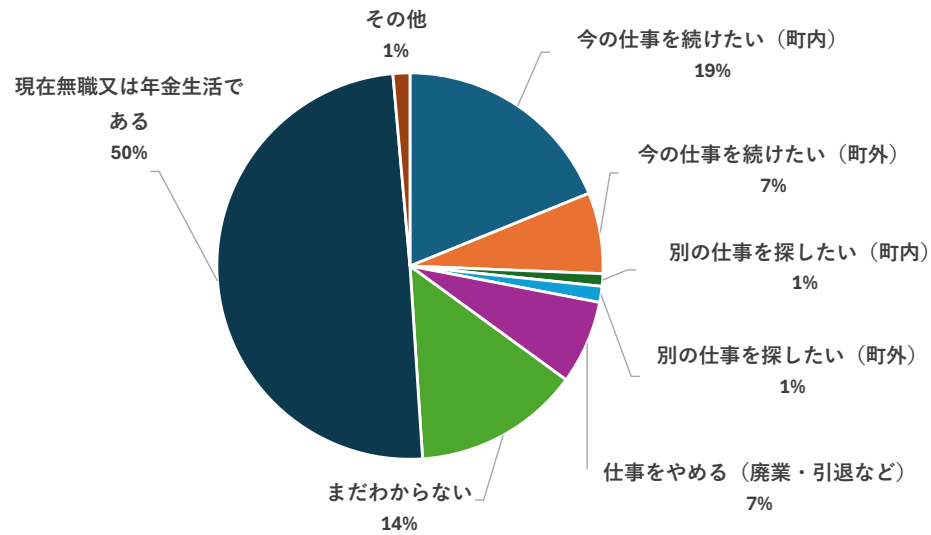
災害発生から、元の生活に戻るまでに要する期間として、「分からない」の割合が32%で一番高くなっています。次いで「1～2年未満」が19%、「1年未満」が15%、「2～3年未満」が13%となっており、比較的短期間で元の生活に戻ると回答されている方が多くなっています。

質問 10

今の仕事を続けたい（町内）	253
今の仕事を続けたい（町外）	91
別の仕事を探したい（町内）	14
別の仕事を探したい（町外）	18
仕事をやめる（廃業・引退など）	94
まだわからない	187
現在無職又は年金生活である	666
その他	19
有効回答数	1342

その他の主な回答
高齢・障害者 2 件
被災時の年齢による 2 件

仕事の継続意向

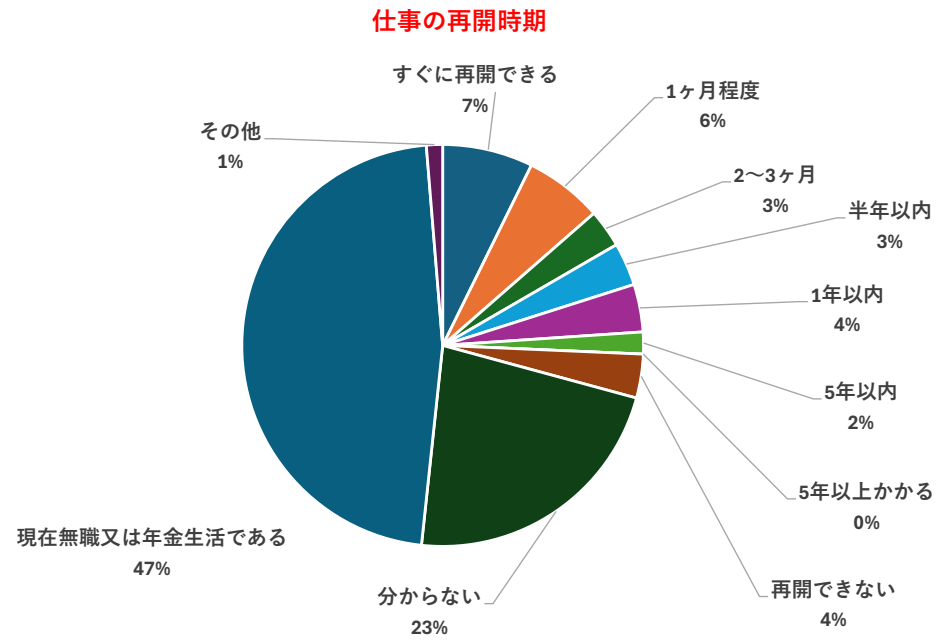


仕事の継続意向として、「現在無職又は年金生活である」の割合が50%で全体の約半数を占めています。次いで「今の仕事を続けたい」が町内及び町外を合わせて26%となっています。また、「まだわからない」と去就をきめかねている方が14%、「仕事をやめる（廃業・引退）」が7%となっています。

質問 1 1

すぐに再開できる	95
1ヶ月程度	82
2～3ヶ月	40
半年以内	45
1年以内	50
5年以内	23
5年以上かかる	0
再開できない	46
分からない	293
現在無職又は年金生活である	613
その他	17
有効回答数	1304

その他の主な回答
年金生活に入る 2 件



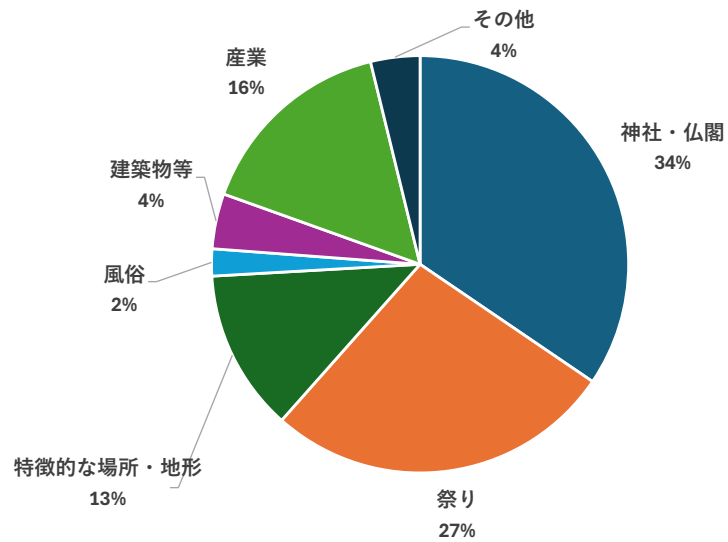
仕事の再開時期として、「現在無職又は年金生活である」の割合が47%で全体の半数近くを占めています。次いで「まだ分からない」が23%となっています。また、「すぐに再開できる」が7%、「再開できない」が4%となっており、「5年以上かかる」と回答した方は1人もいませんでした。

質問 1 2

神社・仏閣	839
祭り	658
特徴的な場所・地形	305
風俗	51
建築物等	104
産業	382
その他	93
有効回答数	2432

その他の主な回答
特になし 18件
分からない 5件
自然 5件
美術館 2件
双名島 1件
遍路道 1件
カツオ（食文化・一本釣り） 1件

中土佐町に残し続けたい自然・文化・景観等



中土佐町に残し続けたい自然・文化・景観等として、「神社・仏閣」の割合が34%で1位となっています。次いで「祭り」が27%、「産業」が16%となっています。地元の文化や伝統が上位を占める結果となっています。

前問（質問12）で選択した理由

有効回収数1,424票のうち、279票（うちweb41票）に「質問12で選択した理由」に対して回答記述がありました。これらの主な名称及び理由について以下に記載します。

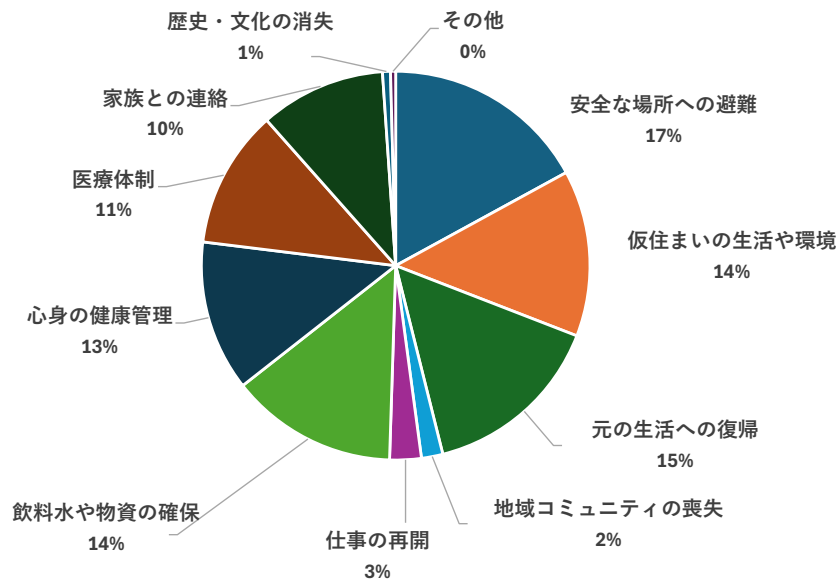
神社・仏閣 久礼八幡宮	神社・仏閣は心のよりどころ。精神的な支えである。継承していくことが大事である。
祭り 久礼八幡大祭	土佐三大祭りの1つであり、昔ながらの大切な行事。人々の交流の場所。
特徴的な場所・地形 四万十川流域 双名島	見慣れたふるさとの風景であり、山、海、川が揃った風光明媚な町である。 だるま朝日が見れる。
風俗	町内会の助け合いと地域コミュニティがある。
建築物等 中土佐町美術館	中土佐町の宝。貴重な絵画はこどもたちの教育にも役立つ。
産業 一次産業	かつおの一本釣りをはじめ、農林漁業等の一次産業は存続させたい。

質問14

安全な場所への避難	642
仮住まいの生活や環境	521
元の生活への復帰	573
地域コミュニティの喪失	67
仕事の再開	99
飲料水や物資の確保	524
心身の健康管理	472
医療体制	433
家族との連絡	394
歴史・文化の消失	25
その他	16
有効回答数	3766

その他の主な回答
生き残れるか3件
介護・赤ちゃん用品の確保2件

南海トラフ巨大地震発生後、不安に思うこと



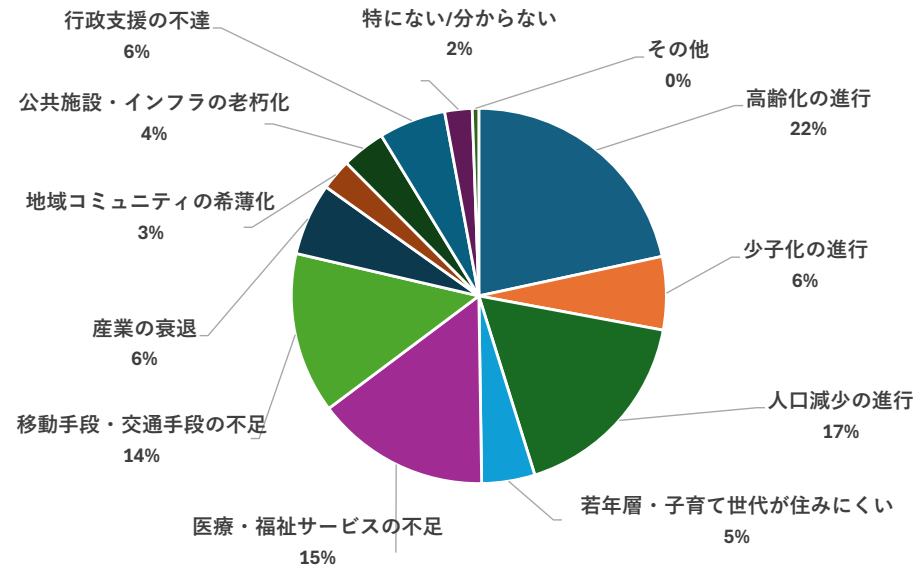
南海トラフ巨大地震発生後、不安に思うこととして、「安全な場所への避難」の割合が17%で1位となっています。次いで、「元の生活への復帰」が15%、「仮住まいの生活や環境」及び「飲料水や物資の確保」がそれぞれ14%となっています。以下「心身の健康管理」、「医療体制」、「家族との連絡」となっています。

質問 1 5

高齢化の進行	768
少子化の進行	224
人口減少の進行	613
若年層・子育て世代が住みにくい	163
医療・福祉サービスの不足	533
移動手段・交通手段の不足	493
産業の衰退	221
地域コミュニティの希薄化	95
公共施設・インフラの老朽化	134
行政支援の不達	205
特にない/分からない	84
その他	20
有効回答数	3553

その他の主な回答
孤立化
労働者不足

居住地域で災害後に、特に課題となりそうなこと

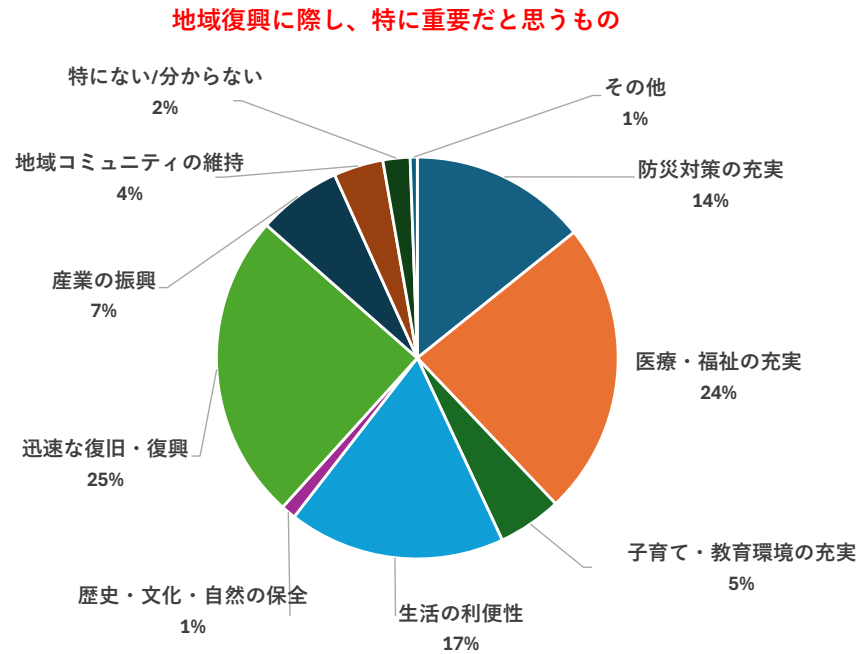


居住地域で災害後に、特に課題となりそうなこととして、「高齢化の進行」の割合が22%で1位となっています。次いで、「人口減少の進行」が17%となっており、ヒトに対する課題が上位を占めています。以下、「医療・福祉サービスの不足」が15%、「移動手段・交通手段の不足」が14%となっています。

質問16

防災対策の充実	502
医療・福祉の充実	834
子育て・教育環境の充実	181
生活の利便性	615
歴史・文化・自然の保全	42
迅速な復旧・復興	874
産業の振興	238
地域コミュニティの維持	141
特にない/分からない	77
その他	20
有効回答数	3524

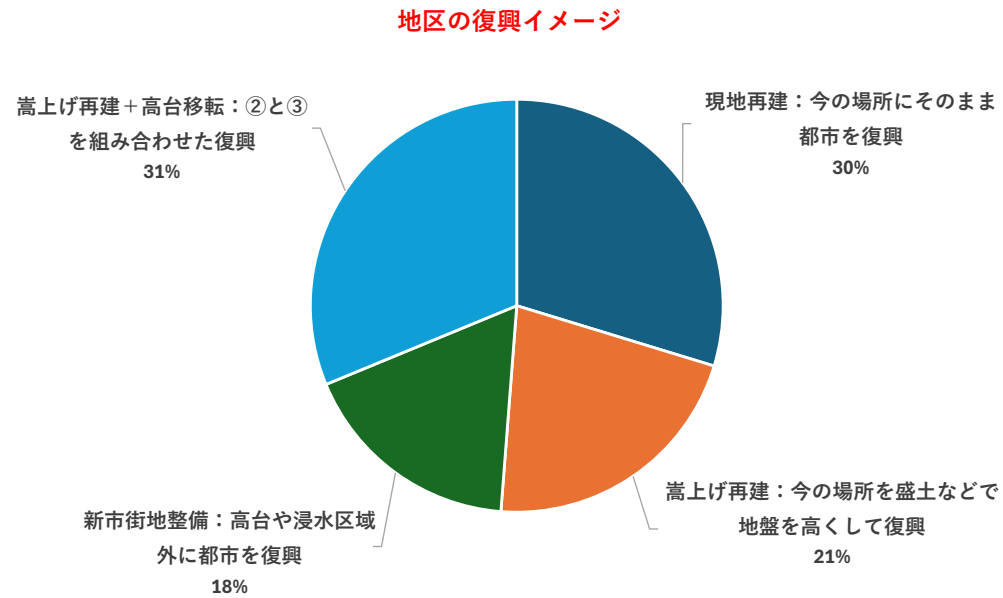
その他の主な回答
労働者の確保と被災者支援
4つの助。自助、互助、共助、公助
道路寸断時の対応



地域復興に際し、特に重要だと思うものとして、「迅速な復旧・復興」の割合が25%、「医療・福祉の充実」が24%となっており、この2つで全体の約半数近くを占めています。次いで、「生活の利便性」が17%、「防災対策の充実」が14%となっています。

質問 17

現地再建：今の場所にそのまま都市を復興	315
嵩上げ再建：今の場所を盛土などで地盤を高くして復興	228
新市街地整備：高台や浸水区域外に都市を復興	186
嵩上げ再建＋高台移転：②と③を組み合わせた復興	331
有効回答数	1060

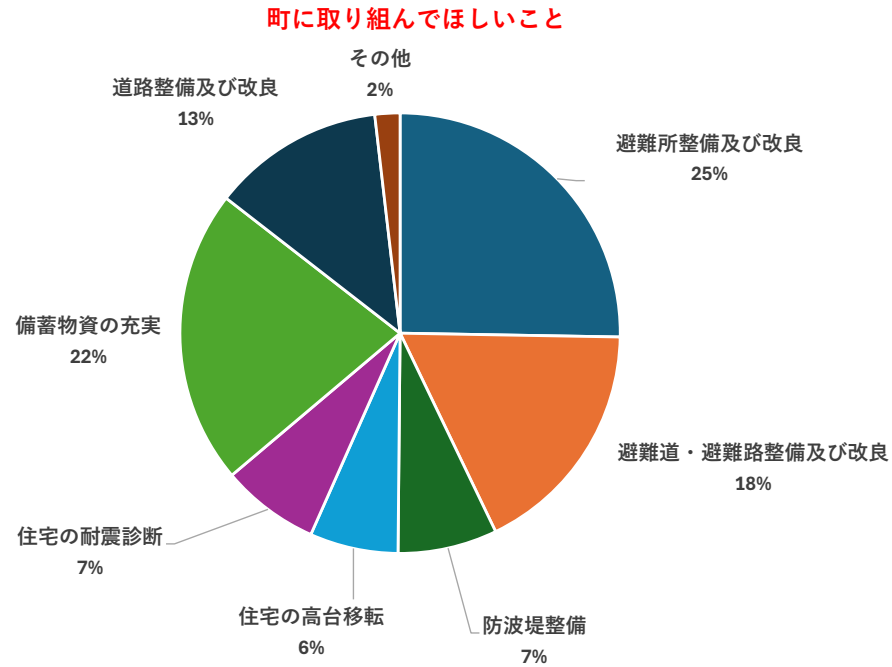


地区の復興イメージとして、「嵩上げ再建＋高台移転」の割合が31%と最も多く、次いで「現地再建」が30%、「嵩上げ再建」が21%、「新市街地整備」が18%となっています。

質問18

避難所整備及び改良	755
避難道・避難路整備及び改良	525
防波堤整備	218
住宅の高台移転	194
住宅の耐震診断	215
備蓄物資の充実	647
道路整備及び改良	378
その他	55
有効回答数	2987

その他の主な回答
避難所の設備（トイレ等）充実5件
避難訓練・防災学習4件
通信施設の整備2件
ペット同行対応2件



町に取り組んでほしいこととして、「避難所整備及び改良」の割合が25%、「備蓄物資の充実」が22%となっており、この2つで全体の約半数近くを占めています。次いで、「避難道・避難路整備及び改良」が18%、「道路整備及び改良」が13%となっています。

自由意見について

有効回収数1,424票のうち、234票（うちweb33票）に「自由意見」に対する質問に回答記述がありました。これらのご意見を以下の3つに大きく分類しています。

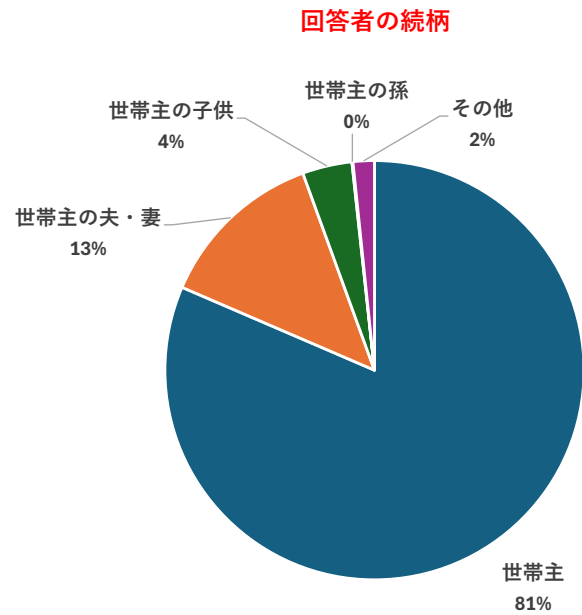
分類	件数
1. 事前復興ソフト対策	
高齢者・要介護者対策	5
防災意識の向上	9
避難訓練・防災学習	8
避難所の管理・運営	2
避難行動要支援者対策	1
制度面の充実・拡充	7
被災時の連携強化	18
情報伝達・通信手段	3
備蓄品の確保	5
生活・住まい・教育	5
衛生用品の備蓄	6
2. 事前復興ハード対策	
河川・水路整備	6
避難所・避難路整備	27
住宅関係	6

分類	件数
港湾・漁港整備	6
高台造成・開発関係	16
老朽危険家屋の撤去	2
土砂災害対策	10
道路・橋梁整備	13
3. その他	
町政への意見・要望	27
当該アンケートに対する意見	15
被災時の心配事・悩み	8
その他	29
全体	234

質問 2 0

世帯主	1042
世帯主の夫・妻	166
世帯主の子供	49
世帯主の孫	1
その他	21
有効回答数	1279

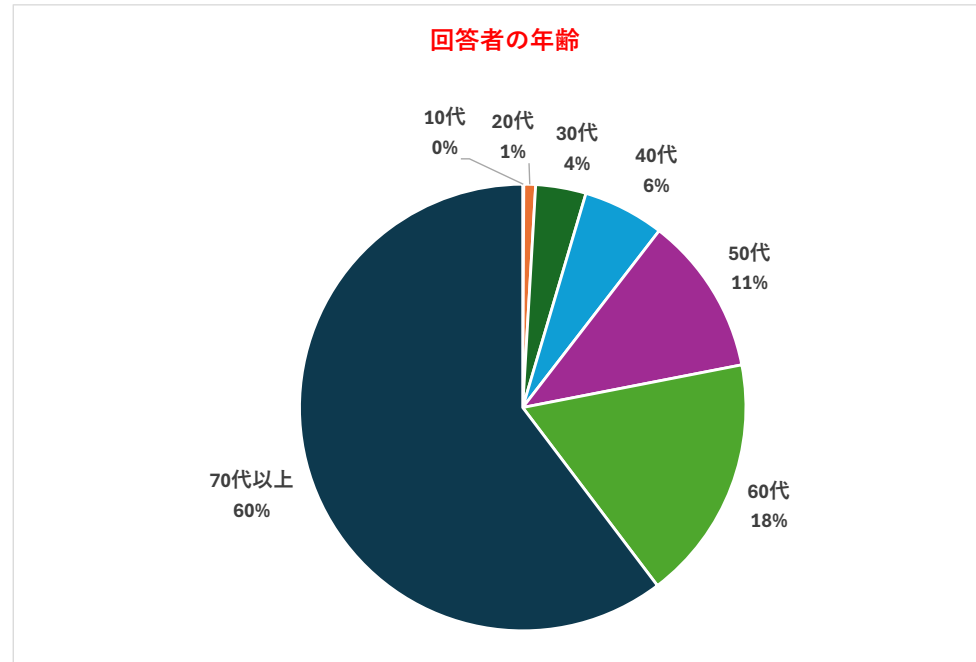
その他の主な回答
世帯主の親
世帯主の兄弟姉妹
職場で住み込み



回答者の続柄として、「世帯主」の割合が81%、「世帯主の夫・妻」が13%となっており、この2者で全体の9割を占める結果となっています。

質問 2 1

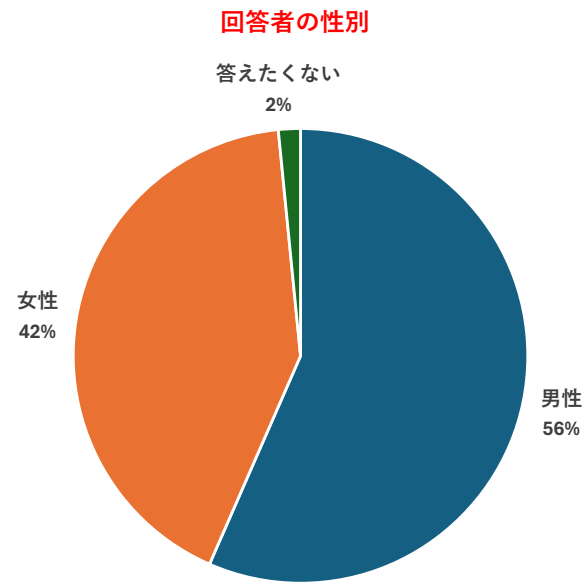
10代	1
20代	11
30代	47
40代	76
50代	148
60代	229
70代以上	778
有効回答数	1290



回答者の年齢として、「70代以上」の割合が60%、次いで、「60代」が18%となっています。以下50代～10代の順に回答者の割合は減少しており、高齢者の方の回答率が高くなっています。

質問 2 2

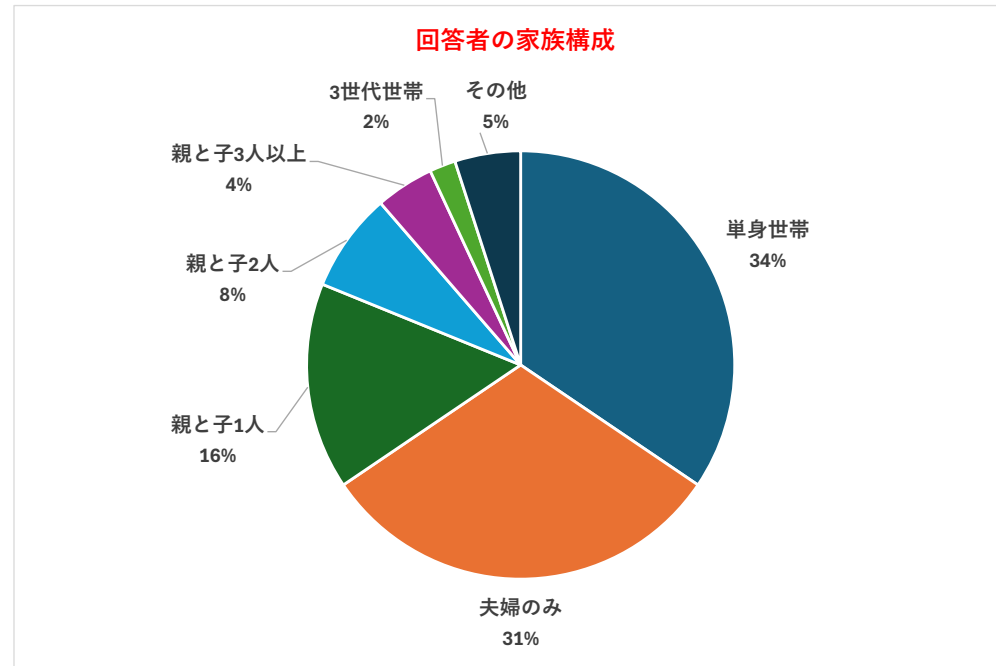
男性	724
女性	536
答えたくない	20
有効回答数	1280



質問 2 3

単身世帯	437
夫婦のみ	394
親と子1人	198
親と子2人	95
親と子3人以上	56
3世代世帯	25
その他	63
有効回答数	1268

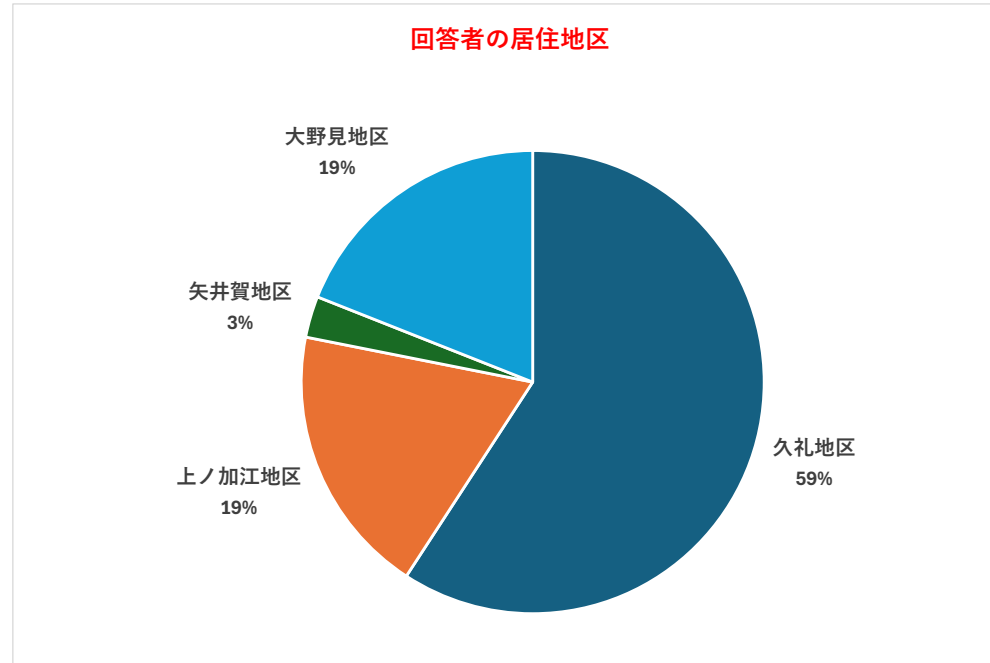
その他の主な回答
兄弟・姉妹12件
世帯が分かれている 3件



回答者の家族構成として、「単身世帯」の割合が34%、「夫婦のみ」が31%となっており、この2つの家族構成で全体の65%を占める結果となっています。

質問 2 4

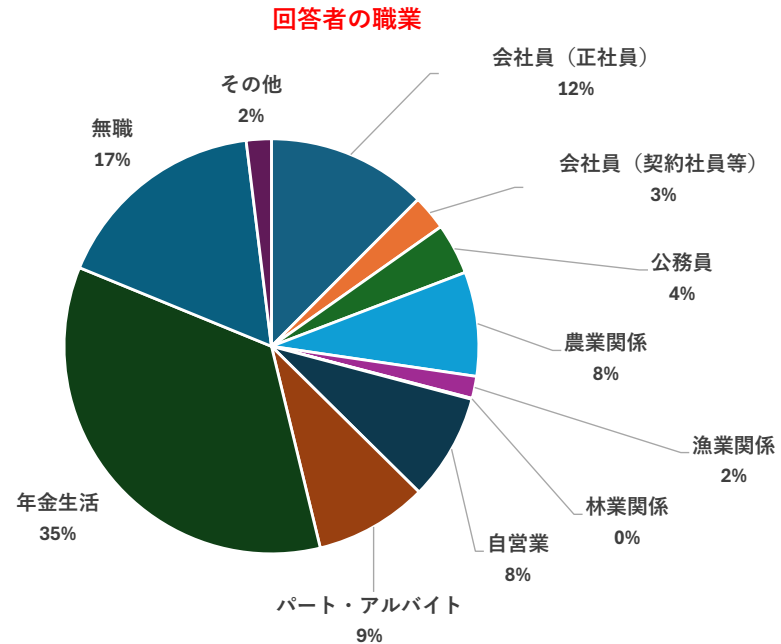
久礼地区	760
上ノ加江地区	243
矢井賀地区	37
大野見地区	244
有効回答数	1284



回答者の居住地区として、「久礼地区」の割合が59%、次いで、「上ノ加江地区」と「大野見地区」がそれぞれが19%となっており、「矢井賀地区」は3%という結果となっています。

質問 2 5

会社員（正社員）	160
会社員（契約社員等）	35
公務員	51
農業関係	104
漁業関係	22
林業関係	1
自営業	106
パート・アルバイト	113
年金生活	448
無職	216
その他	25
有効回答数	1281

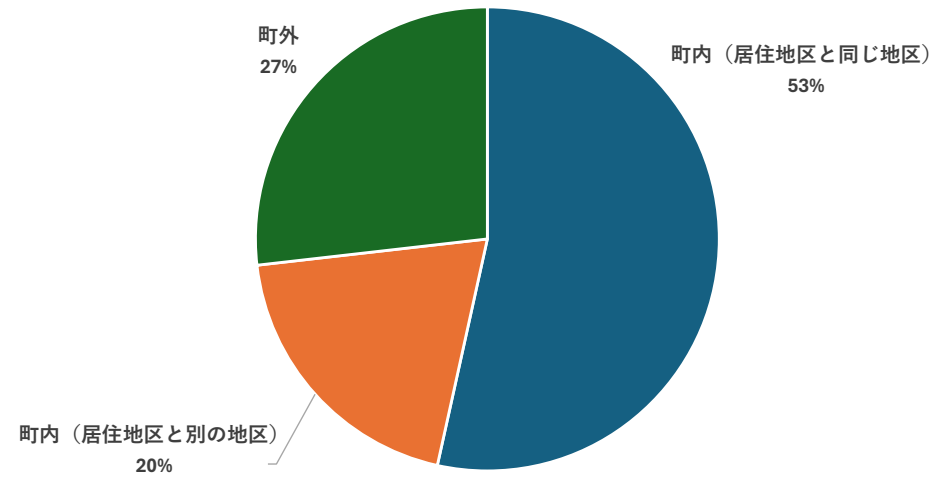


回答者の職業として、「年金生活」の割合が35%、「無職」が17%となっており、この2者で全体の半数以上を占める結果となっています。また有職者として割合が高い職業は「会社員（正社員）」が12%、「パート・アルバイト」が9%の順となっています。

質問 2 6

町内（居住地区と同じ地区）	355
町内（居住地区と別の地区）	131
町外	178
有効回答数	664

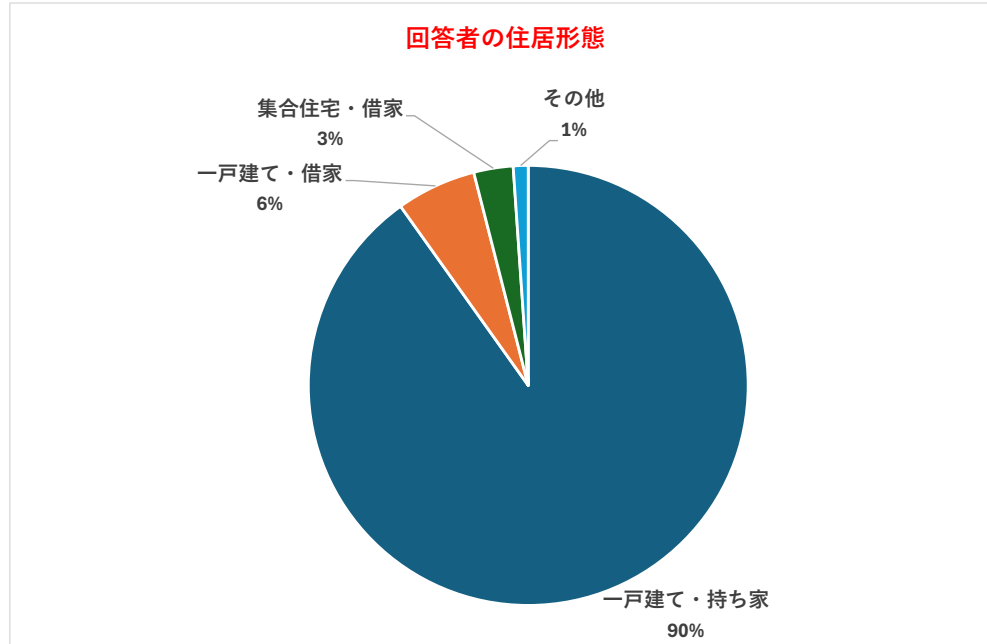
回答者の通勤又は通学場所



回答者の通勤又は通学場所として、「町内（居住地区と同じ地区）」の割合が53%と全体の半数以上を占めています。以下、「町外」が27%、「町内（居住地区と別の地区）」が20%という結果になっています。

質問27

一戸建て・持ち家	1152
一戸建て・借家	75
集合住宅・借家	37
その他	14
有効回答数	1278



回答者の住居形態として、「一戸建て・持ち家」の割合が90%と全体のほとんどを占めています。以下、「一戸建て・借家」が6%、「集合住宅・借家」が3%という結果になっています

質問 28

～200万円未満	492
200万円～400万円未満	363
400万円～600万円未満	124
600万円～800万円未満	48
800万円以上	29
答えたくない、分からない	179
有効回答数	1235

